

【尾道支部 2020 年度スローガン】 自社のために、同友会を活用しよう！～ 課題を持ち寄り、共に解決しよう！～

【新入会員紹介】

本気の治療で地域に貢献する。

宗永鍼灸接骨院

柔道整復師・はり師・きゅう師

宗永忠氏



よくなる人

- 自分の体を大切にできる人
- 私の治療を守る人
- 誇りや持ち前のある人
- 正直な人
- 誇りを持って働く人
- 時間を守る人
- 連絡できる人
- 仕事を継続できる人

今月の見どころ

INDEX

7月支部例会は「尾道支部の活動方針発表会」として開催されました。さて、「ONE TEAM」「ONLY ONE」「NEED ONE」をご存知ですか？答えは、2024年に実現をめざす尾道支部の中期ビジョンの「スローガン」です。では、尾道支部の2020年度スローガンをご存知ですか？（答えは誌面のどこかに書いてあります）。7月支部例会を終え、尾道支部は、このスローガンの実現に向けて、本格的に歩みだしました。自社のために、同友会を活用しましょう。

- P2.3……7月支部例会
- P4……新入会員紹介
- P5……経営指針発表会・青年部会例会
- P6……支部理事会報告
- P7……行事案内
- P8……新型コロナウイルスに関するお知らせ

2024年に実現を目指す 尾道支部の中期ビジョン ～ 1, One Team 2, Only One 3, need One ～

■報告者 尾道支部理事ならびにビジョン推進委員会
■とき：2020年7月16日（木）19:00 ■会場：ZOOM

【リアルからオンライン例会へ】

例会をどうやって運営していくのか。コロナ禍の中、やるべきかどうか理事会でも協議が行われ、当初リアルで集まって行われる予定でしたが、減らない感染者数やそれぞれが置かれている社会的立場を考えた結果、初めてオンラインでの開催となりました。

そこで、リアルではできないことよりも、オンラインだからできることを話し合い、デメリットよりもメリットに価値を見出そうと前向きに考えていきました。

【ビジョン委員会とゴールを共有】

本来ならば3月にリアルで例会を行う予定だったビジョン委員会と、オンラインで何を伝えていくのか、zoomを使って何度もミーティングを重ねていきます。どうしたら尾道支部のビジョンを共有できるのか？どうすれば例会に参加してもらえるのか？もしかしたら尾道支部史上最高にアツイメンバーが集まる新設ビジョン委員会と、何時間も意見を出し合いました。（開始後4時間を超えていたのも、オンラインならではの）。もうこれ自体を中継し、例会にしてもいいのでは？と思うほど内容の濃い話し合いができ、こういう活動自体に学ぶことがあると感じた瞬間でした。



←尾道支部中期ビジョンスローガンフラッグ

ONE TEAM ～ 経営相談できる 経営者集団 ～

私たちは仲が良いです。しかし、馴れ合いの団体ではなく、本気・本音で語り合える団体です。腹を割って現状や課題をさらけ出し、皆がそこに向き合います。そうすることによって、新たな知恵や解決策が生まれてきます。私たちはそういった機会（チャンス）を活かし、良い経営者をめざす仲間が集まりです。

ONLY ONE ～ ナンバーワン企業ではなく オンリーワン企業へ ～

私たちは、規模で競争するのではなく、地域において個性ある付加価値をもった企業をめざします。経営理念のもと、良い会社を創造します。

NEED ONE ～ 地域から必要とされる 団体・企業へ ～

私たちは、地域から必要とされる企業をめざします。雇用・地域活性・コミュニティーの創造など様々な分野において、良い経営環境を創り、地域に根ざした活動をします。

【ワンチームへ、小組での呼びかけ】

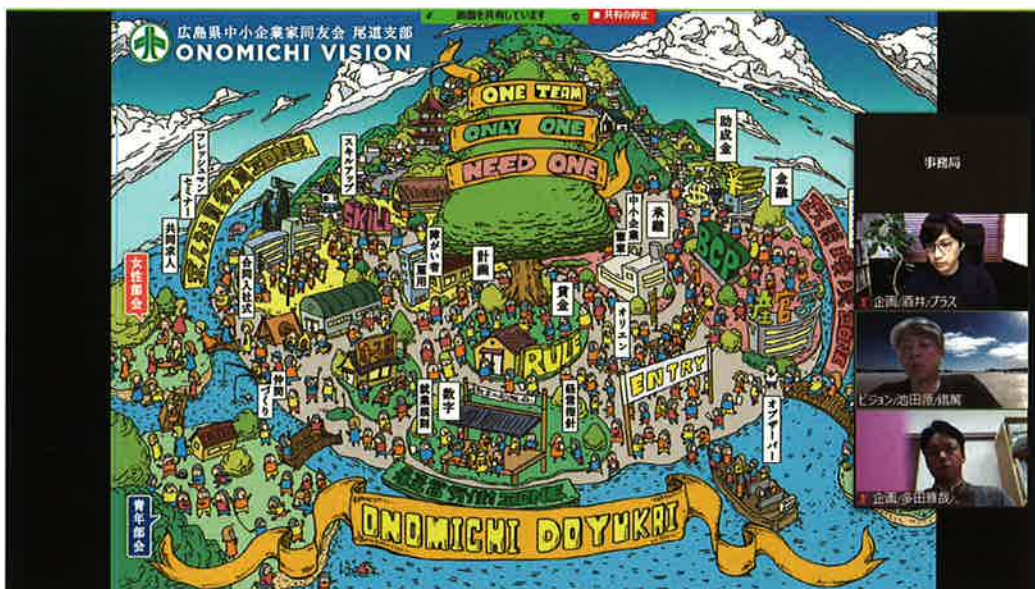
今期から企画委員長に就任し、理事として初めて挑む例会は手探り状態で、実際のところどう各委員のメンバーを集めていくかという前に、どう他の理事の方々とコミュニケーションをとって全体業務を全うするか、わからないことだらけで不安でした。しかし、『考え方は別々でも、ゴールを共有できるチームは強い』という言葉を頭に、まずは今まで案内できなかった人たちに、直接連絡をとって行きました。中でも、今回の取り組みとして委員会を小組に捉えてそれぞれのメンバーへ連絡する形は、参加率はともかく、例会内容を周知するには、おおよその会員さんに案内できたのではないかと考えています。グループ会議も、そのまま委員会方針の協議場として活用できたのは、まさにワンチームに向けた最初の一步と感じました。

【オンライン例会への期待】

オンライン例会においては、まだまだ様々な意見をいただきます。しかし、一つのツールが生まれたということは、それぞれのビジネスにとっては大きなチャンスと捉え、この機会にそういうオンラインでの場の進め方や、操作方法まで、この例会を通して学ぶことも、同友会活動の一つと思っています。今後の課題としては、リアルだと可能だったちょっとした雑談から生まれる新しいアイデアや関係性が、どうしてもオンラインだと必要最低限の発言しか出来ず、難しい面もあるのですが、オンラインによって参加率も上がり、小組活動が活発になっていけば、フォローされていく部分もあるのではないかと期待しています。これに関してはオンラインツールの使い方もアレンジしながら対応していきたいと考えています。

ということで、「面白くなければ例会じゃない！」をテーマに、最新のデジタルツールの操作方法やオンラインでのマナー講座も学べる例会に、ぜひ参加してください！ピンチの大きさ以上に大きなチャンスの時です！

企画委員長 酒井 裕次



本気の治療で地域に貢献する。

宗永鍼灸接骨院 柔道整復師・はり師・きゅう師 宗永 忠氏

◎プロフィール・生い立ちを聞かせてください。

自分が受けた鍼治療がきっかけで医療の道へ。

1988年10月生まれ、尾道市美ノ郷町の出身です。木頃小、美木中、尾道高校へと進み、その後京都の明治国際医療大学へと進学しました。

小学校の頃から野球をしていたのですが、中学生の頃に怪我をすることが多く、そのときに鍼治療を受けたことがきっかけで、「自分も治療の道に進みたい」と思い、鍼灸師の勉強ができる大学を選びました。

国家資格に無事合格し、卒業後、大阪の接骨院で勤務する傍ら、専門学校へ通い、柔道整復師の資格を取得しました。午前中働いて、午後学校へ。その後また勤務先へ戻り夜まで働くといった生活でした。27歳の時に尾道へ戻り、独立・開業致しました。現在でちょうど5年が経ちました。

◎仕事内容をおしえてください。

本気の方を本気で治療する。

おもに膝の悩みをお持ちの方が患者さんの7割くらいいらっしゃいますね。平均で60代の女性が多いでしょうか。病院の注射や薬で良くならなかったという方がいらっしゃいます。うちに来る患者さんは「もう治療院に何件も通ったけど治らないから診て欲しい」「どうしてもやりたいことがあるけど、痛みのせいで出来ない。なんとかして欲しい」といった方が大半です。他には腰や顎の悩みの方もいますね。顎関節症や歯ぎしり・食いしばりで悩まれている方も多いです。

うちでは痛みの原因を探って、表面的な部分ではなく、それを引き起こしている根本の原因を改善いたします。他の部分に不具合はないか、姿勢や生活スタイルはどうかなども聞き取りを行ない、原因を突き止めます。なぜ痛みが出てしまったのか？という部分に対してアプローチしていくことで、その人の人生が大きくいい方向に向かっていくと考えているからです。初回は1時間程度カウンセリングなどを行ない、2回目以降は30分ほどの施術で、改善に向かうよう治療していきます。

集客も本気で。

集客や販促も勉強しながら、日々行なっています。ホームページやWEBのリ스팅広告、SNSを活用したものから、折り込みチラシやポスティング・集合広告などもしています。費用対効果をみながら、様々なことに挑戦しています。なるべくあまり他の接骨院さんがやっていないような広告をしています。現在イメージしているのは、you tube や instagram などを利用して LINE に誘導し、お客様とコミュニケーションを取って信頼を築いていけるようにしていくことですね。なかなか難しいですが、治療院に特化したグループコンサルティングなども受講して、勉強しています。

◎治療への想いは？

自分一人で治すのではない。

うちに来る患者さんは「どこに行っても治らなかった」という本当に治したいと思う方が多くいらっしゃいます。私も治したいと思う方を、精一杯本気で治したいと思いながら治療しています。痛みで生活が制限されていたり、やりたいことができない方が少しでも改善に向かうように努力しています。でするので保険が使えない治療になりますが、しっかりと見させていただきます。

治療とは、私一人の力で治すのではないのです。患者さんの日常生活から見直し、座り方や立ち方、姿勢や自宅でするストレッチなどの生活指導も行ないながら、2人3脚で治っていくのです。健康に過ごすためのライフスタイルと一緒に築き上げることが大切だと考えています。

◎今後の目標は？

地域の皆様のお役に。

やはり膝の患者さんが多く、「ひざ教室」を開こうかと思っています。しかしながら、現在はコロナ禍にあるので、密になってしまうといけなないので慎重に考えています。オンライン教室も考えましたが、患者さんの年齢層を考えると難しいかもしれません。でも必ず開催して、少しでも地域の皆様のお役に立てるようと思っています。

ここまで読んで下さった皆様、ありがとうございます。おからだの悩みがありましたら、いつでもお気軽にお声がけください！

ありがとうございました。(文/上田・写真/麻生)



治療中の眼差しに本気が宿る。



様々な器具や鍼灸道具のある、明るい院内。

■とき：2020年7月28日（火）19:00 ■会場：ZOOM

■報告者：（有）I WILL 安達 亮 氏、シミズダイヤモンド(株) 清水 良輔 氏

【元気がでた発表会】

経営労働委員会の勉強会として経営指針発表会を聞かせて頂きました。発表者の（有）I WILL 安達氏、シミズダイヤモンド（株）の清水氏、共に素晴らしい発表でした。

会社を引き継ぎ経営していく立場で悩みを抱え不安な中、経営指針書を作成する事で、将来こうなりたいという明確な目標に向かって何をすべきか、そしてそれを従業員と共有し実行する事で従業員の意識も変わっていくんだと感じました。さらに自分で描いた目標を早く達成している事に驚きました。

恥ずかしながら弊社では経営指針等は定めておりません。頭の中には何年後にはこうしたい、将来はこうなったら良いなと言う考えはありますが、それを書出し明確にしたものが何もないのです。

この度の発表を聞き、将来のビジョンを明確にし、会社の方向性を定め、



それを従業員と共有して共に行動していく事の大切さを学びました。やはり頭に描くだけでなく指針として書き出すことで自分自身のやる気と行動力が変わってくるのではないかと感じております。今後は私も経営指針についてより深く学んでいき、会社全体で取り組んでより良い会社にしていきます。

貴重なお話を本当に有難う御座いました。

（株）西川組 高重 直文

青年部会

会員の経営状況確認と新体制の親睦を深める例会

■とき：2020年7月20日（月）19:00 ■会場：ZOOM

【やはり地道に】

7月20日月曜日19:00～ZOOMにて青年部例会が開催されました。

例会の目的は、コロナ禍の中の新体制で親睦を深めようでした。

内容としては、コロナ禍で見えてきた経営状況を把握し、一年後の経営状況を予想するという討論です。現状把握はできてはいるけど、一年後までは予想できていない等、色々な意見がありました。

もう一つは、もし、宝くじ10億円が当たったらどうしますか？という討論です。こちらの討論では、今の仕事は辞めずに続けていく方が大半でした。皆さんざっくばらんな話が飛び交い、親睦を深めることができたと思います。

例会を終えて、ウイルス、災害などいつ起こるか分からないので、平常運転できている時にこそ起こりえない事態を想定し、対策を考えないといけないと気付かされました。同友会を通じて、貴重なお話を参考に自身の成長を図っていけばいいなと思いました。貴重なお時間ありがとうございました。

10億円は、頼りにせず、やはり地道な努力で得た対価の方が嬉しいと思います。

フラッグハンズ 旗手 宏典



■ 開会挨拶（浮田副支部長）

文責 事務局 井谷

わが社と業界の状況についてです。TVを見ていると大手ハウスメーカーがパンパンCMを出しています。これを見て、大手は低価格帯の客層に狙いを変えていると感じています。中小企業にとっては逆風です。経営の基本は、お客様の求めを知り、そこに向けて自社はどうか、だと思えます。今、このことが問われています。家は一生の買い物です。気軽に触れてもらう機会をつくれなかつたかと思っています。例えば、スーパーの試食の様な感じです。コロナ禍は長期化しそうです。自社の方向性をしっかりさせていきたいと思えます。今日もしっかり話し合います。よろしくお願ひします。

■ 確認・報告事項

- ※7月支部例会のふりかえりを行いました。詳しくは討議事項で行いました。
- ※8月支部例会はZoom開催に変更して開催することになりました。9月支部例会の報告者は、(株)コアブリッジ 坂口氏に決まりました。

■ 県理事会の報告（山本支部長）

- ※報告のポイントは以下。詳細は省略。詳しくは事務局にお尋ねください。
- ※県理事増強について。立石代表理事の共に生き残ろうと声をかけよう。仲間を増やそうという発言が印象に残っています。悩む経営者を一人にさせてはいけません。尾道支部はオブザーバーへの参加呼びかけをしっかりとやっていきましょう。
- 【中同協関係】7/14 中同協第52回定時総会。議案・決算・予算のすべてが承認され、総会宣言が採択されました。役員改選があり、中同協中国ブロック担当副会長には統投で川口護氏（(株)デイ・リンク 会長）、中同協共同求人委員長に川中英章氏（(株)EVENTOS 社長）が選任されました。

■ その他

- ※地域活性化企画関連 作品展示の予告（徳永政策環境委員長）
- ・会尾道市立大学の桜田先生から、作品展開催の連絡がありました。期間は10/5から9日までの5日間です。詳細がわかりしだいご案内します。

■ 承認事項

1. 入退会の承認（川口組織委員長）
入会希望者0名、退会希望者0名。
※会員数は103名です。

■ 委員会・部会の報告

求人社員教育委員会（小唄求人社員教育委員長）
高校求人アンケートへのご協力、ありがとうございます。期間中48名から回答がありました。集まった回答を持って、高校訪問をしました。先生方と話をすることで、高校生採用のポイントは、高校に求人履歴が残っていること。今年は採用がなくても会社案内を学校に出している事。採用実績が毎年あることがベスト。求人票は7月1日に提出すること、が大事だと分かりました。バスツアーに要望をいただきました。対象は1～2年生担当の先生にしてほしいこと。開催時期は5月は忙しいようです。先生と話し合って決めます。何より、先生方と、会って話す回数を増やしていこうと思ひました。

■ 討議事項テーマ：「座談会～尾道支部活性化のために」進行：杉原議長 報告者：各委員長

※討議事項の趣旨は、中期ビジョンの具体化をテーマに行った7月支部例会のふりかえり資料をもとにしたい事を言い合おうです。※7月支部例会のふりかえり資料は、7月支部例会のグループ討論をもとに、各委員長が作成したものです。※各委員長からふりかえり資料をもとに発言がありました。【課題など】
・e.doyuの活用。使い方と、使いづらさ。情報満載、情報が集積しておりふりかえりできるなど。
・支部例会で人生論は聞きたくない。・支部例会の在り方は？・同友会に参加すると仕事が増えそう。・経営指針の取組み。東部エリアの活用。・求人取組み。社員教育の取組み。二本立てで行きたい。・委員会に委員をどう巻き込むか。・各委員長（部会長）が「ONE TEAM」になろうと呼びかけよう。・支部理事会の在り方について。討議ができる支部理事会にしてはどうか。
まとめ（三原中期ビジョン推進委員長）
各委員長にやりたい事がたくさんあり、今後が楽しみになりました。支部例会も変化がありそうです。コロナ禍は長期化しそうです。リアルで行事開催が難しい状況ですが、オンラインでリアル感を出していく事は、これからの挑戦であり、みんなで作り上げることでしかできないと思ひます。私は、ビジョンは手法ではなく、思いだと思ひます。同友会は自社を良くするところです。やりたい放題はいけないと思ひますが、節度を持って（方針に沿って）、新しい中期ビジョンを体現していきましょう。力を合わせて一歩前へ進んでいきましょう。本日は、ご協力ありがとうございました。

■ 閉会挨拶 岩田副支部長

活発な意見交換、お疲れ様でした。新体制になり、リアルでの支部理事会は、1回しかできていません。Zoomが続いていますが、初めての経験です。今期は役員改選がありました。こういう状況ということもあり、ちゃんとスタートできるか心配でした。しかし、7月支部例会を開催して、その心配は和らぎ、これからが楽しみになりました。コロナ禍の影響は続いています。自社経営は大変です。ONE TEAMでこの時を乗り越えていきましょう。

■ 次回の理事会

9月2日（水）19:00 Zoom

総務委員会

- 日 時：9月8日（火）
- 会 場：ZOOM
- ※新型コロナウイルス感染症対応により開催については追って連絡いたします。

企画委員会

- 日 時：9月1日（火）
- 会 場：Zoom
- ※新型コロナウイルス感染症対応により開催については追って連絡いたします。

経営労働委員会

- 日 時：9月29日（火）
- 会 場：Zoom
- ※新型コロナウイルス感染症対応により開催については追って連絡いたします。

政策環境委員会

- 日 時：9月
- 会 場：
- ※新型コロナウイルス感染症対応により開催については追って連絡いたします。

青年部会

- 日 時：9月23日（水）19:00～
- 会 場：Zoom
- 報告者：社会福祉法人 和気福祉会 森本 和樹氏
- 内 容：体験報告

組織委員会

- 日 時：9月
- 会 場：
- ※新型コロナウイルス感染症対応により開催については追って連絡いたします。

広報委員会

- 日 時：9月28日（月）20:00～
- 会 場：カメレオンワークス
- 内 容：でべらのことなど

求人社員教育委員会

- 日 時：9月
- 会 場：
- ※新型コロナウイルス感染症対応により開催については追って連絡いたします。

中期ビジョン推進委員会

- 日 時：9月14日（月）19:00～
- 会 場：Zoom
- ※新型コロナウイルス感染症対応により開催については追って連絡いたします。

女性部会

- 日 時：9月
- 会 場：
- ※新型コロナウイルス感染症対応により開催については追って連絡いたします。

《予告》9月支部例会

タイトル未定

- 報告者：(株)コアブリッジ 坂口公彦氏
- 日 時：9月17日（木）19:00～

※新型コロナウイルス感染症対応により開催については追って連絡いたします。

スケジュール

| 9月 | | | | | | 10月 | | | | | | | |
|-------|-------|--|-------|-------------|------|--------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1 | 2 | | 8 | 14 | 17 | 23 | 28 | 29 | 6 | 7 | 13 | 19 | 27 |
| 企画委員会 | 支部理事会 | | 総務委員会 | 中期ビジョン推進委員会 | 支部例会 | 青年部会例会 | 広報委員会 | 経営労働委員会 | 企画委員会 | 支部理事会 | 総務委員会 | 広報委員会 | 経営労働委員会 |

【新型コロナウイルス関連】 ～活用しよう！尾道市独自の支援制度をご紹介します～

現在尾道市では事業者向けに、新型コロナウイルス感染症に関する市独自の支援制度を実施しています。（※尾道市ホームページより一部抜粋）

NEW

○事業継続特別支援金

令和2年3月～5月の3か月の売上合計額が前年同期比20%以上50%未満減少し、国の持続化給付金の対象とならない中小企業者に対し支援金を支給します。

【支給額】法人20万円、個人事業主10万円

【申請期間】令和2年7月6日（月）～11月30日（月）

NEW

○事業者向け補助金等申請サポート補助金（社会保険労務士、行政書士）

国等の事業者向け補助金の支給に必要な申請書類の作成等を社会保険労務士または行政書士へ委託した中小企業者に対して補助金を支給します。

【項目】社会保険労務士

対象事業：雇用調整助成金、緊急雇用安定助成金の申請

補助額：上限10万円（補助率：10/10）

補助回数：1事業者につき1回限り

【項目】行政書士

対象事業：国、広島県及び尾道市の事業者向け補助金の申請

補助額：上限2.5万円（補助率1/2）

補助回数：1事業者につき1回限り

【申請期間】令和2年7月6日（月）～令和3年2月28日（日）

（尾道市作成）事業者向け支援策パンフレット

<https://www.city.onomichi.hiroshima.jp/uploaded/attachment/23228.pdf>

※上記各支援制度について、詳しくは尾道市ホームページをご確認ください。

<https://www.city.onomichi.hiroshima.jp/soshiki/26/31147.html>

今後も随時情報発信してまいりますので、よろしくお願ひします。

政策環境委員長 徳永 剛志

広島県中小企業家同友会尾道支部 発行

事務局：福山市三之丸8-16 福山ニューキャッスルホテルB1F

T E L：084-923-0286

F A X：084-923-0284

e-mail：fukuyama@hiroshima.doyu.jp

【発行責任者】山本 浩矢

【広報委員長】上田 昇辰



支部例会のチェックや
参加可否のご連絡は
e-doyuのスマホ版が便利！



QRコードから簡単ログイン！